



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2023. **11**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 395

- 国際会長：Urlik Lauridsen [デンマーク] 輝かそう、あなたの光を
Let Your Light Shine
- アジア太平洋地域会長：利根川 恵子 [東日本区川越] 変革のための光となろう
Be the light for change
- 西日本区理事：深谷 聡 [名古屋クラブ] 未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future
- 九州部部长：中西 賢一 [熊本クラブ] 今こそ動き出そう 九州から風を



未来の子どもたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう！

鹿児島クラブ会長 徳田 穰

10月例会報告

鹿児島クラブ 園屋 高志

鹿児島クラブの10月例会は、10月24日(火)に鹿児島市国際交流センターで開催されました。

今回は、卓話者として新内俊昭様(新内博之ワイズのお父様、73歳)をお迎えし、「アクティブシニアのチャレンジ!」というお話をいただきました。

新内俊昭さんは、今年9月11日から10月9日までの1か月間、北海道稚内市から熊本市まで、日本海沿いにそのほとんどを自転車で旅されるという壮大なチャレンジをされました。事前に綿密な計画を立て、周到な準備をされていたものの、途中での様々なハプニングに遭い、それを知恵と冷静な判断、そして出会った方のサポートによって乗り越え、無事にチャレンジを果たされたのです。そのきっかけは、癌の治療をされているときに、「いくつになっても自分の思いを達成したい。あの時やっておけばよかったと後で思わないようにしたい。今、その時が大切だ。」と一念発起されたことです。

新内さんは若い時から自転車に乗られ、60歳を過ぎてからはフルマラソンに挑戦されるなど、もともと気力、体力を持っておられる方とは思いますが、大病を患いながらも意志を達成されたことに、私は感動し、励まされました。また、例会では一緒に参加された奥様からも少しお話しがありましたが、家族の後押しなど、その絆の大切さを改めて感じたことでした。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

vol.
05

会長通信

鹿児島クラブ会長 徳田 穰



未来の子もたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう!

10月例会は、新内俊昭さんに「アクティブシニアのチャレンジ」というテーマで卓話をしていただきました。ありがとうございました。新内さんは3年前にすい臓がんの手術をなされた方で73歳という高齢者です。それにもかかわらず北海道の稚内から鹿児島まで2,550kmを自転車で1か月かけ、単独で旅行した体験を話してくださいました。その勇気、チャレンジ精神、周到的な準備、それに新内さんを単独自転車縦断旅行に送り出した奥様の決断と寛大さには感服いたしました。私も新内さんを見習ってあらゆることにチャレンジしていきたいと心を新たにしました。

最近、気になっていることは、土、日、祝日や長期休暇に近所の公園で子ども達がほとんど遊んでいないことです。子ども達が公園で遊ばないのは、習い事、家の中でのゲーム、テレビ視聴等が原因という人もいます。しかし、それだけが原因でない気がします。私達が子どもの頃に体験した屋外で遊ぶ楽しさや面白さを知らないからでないかと思います。私達の子どもの頃は、外で暗くなるまで、鬼ごっこ、陣取り、缶蹴り、縄跳び、ボール遊び等を地域の子も全員が一緒になって遊んでいました。こうした遊びを通して、他人との協調性、持久力、根性、相手を思いやる心などを学んだ気がします。

また、以前は地域で子どもを育てようという気運が強く、地域がそれなりの機能をはたしていた気がします。子どもが悪いことをしたら、自分の子どもでなくても注意したりしていた。地域には必ず子ども達が目置くお兄さんやおじさんがいて、子ども達の相手をしてくれたり、見守ってくれたりしていました。

我々ワイズメンもYMCAと密接に連携して、自分達の地域に住む子ども達ともっと関わり、外での体を動かしての遊びの楽しさや面白さ、自然とのふれあいの大事さを教えることが必要ではないかと思えます。

vol.
05

理事通信

西日本区理事 深谷 聡



未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future

すっかり秋に成り、過ごしやすい季節となりました。9月より各部会に参加をさせて頂き、どこへ伺っても温かいおもてなしを頂き感謝申し上げます。各部会で皆様にお会いできると緊張感も解れます。各地にお知り合いができた事も財産であります。各地にはその地域の流儀があります。この地域であるからこそ、この活動があるのです。その違いを積極的に楽しみたいと思います。違いがあると言っても、皆同じベクトルに向かっています。今まで他の部、クラブを訪れる機会があまりありませんでしたが、一歩踏み出すと参考になる事に気づけました。クラブの在り方、クラブ運営の仕方など、正に玉手箱です。やはりワイズメンのお人柄。心温まる迎え入れに幸せを感じます。以前先輩から『外へ出なさい。もっとワイズの魅力を感じられる』とアドバイスを頂きました。その言葉の意味が分かって参りました。これも偏に皆様のお陰と感謝申し上げます。

私達の活動は決して派手なものではありませんが、歴史と心があります。『隣人に寄り添う』この精神こそがワイズメンズクラブ&YMCAの活動の原点であり、日本のみならず世界で認められている理由であると思います。この誇りを胸に、できる御業を各々が見つけ、戦争や天災等で苦しむ仲間から希望の光を灯して参りましょう。

我々の活動は弱者の立場に立って歩んで来た歴史があるからこそ、社会に必要とされているのだと思えます。胸を張りましょう。

私達は自分達のやり方でできる活動を、どんなに小さくとも、やり易くして継続してすすめていきましょう。継続が力になると信じます。DBC、IBCの仲間とも力を合わせましょう。長年の友情や信頼関係を育てて来た仲間と新たな一歩を踏み出せば、きっと大きな幸せが見つかると思っております。戦争は悲しみと苦しみの連鎖で憎悪しか残りません。世界のどこかで苦しみの中にある仲間の事を覚えましょう。我らの活動で、そうした仲間達が少しでも憩えるようにと祈ります。

谷山ヘリポート清掃活動報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

去る11月12日(日)、鹿児島YMCAと共同で鹿児島市谷山港横の谷山ヘリポートの清掃活動を今年も実施。ここは一般の人々が自由に出入り出来るので釣りのメッカにもなっております。港湾関係のトラックを中心としたドライバーの休憩所にもなっており、ゴミ投棄が多い場所です。YMCAチアダンスのメンバーとその親御さん方、YMCA賛助会員の企業『サナス』の皆様方、鹿児島ワイズメンズクラブの総勢85名が参加し、ゴミ袋約30袋分のゴミを約1時間で拾いました。SDGsの活動の一環として、チアダンスのメンバーの皆さん学び多き活動になったかと思えます。日曜の早朝7時30分過ぎからの活動でしたが、多くの参加者があり有意義な活動となりました。毎年の事ながら、「どうしてこんなにゴミを捨てるのかなあ」と憤りを感じました。



10 October 定例会報告

日時：令和5年10月24日(火) 19:00～20:30
場所：鹿児島市国際交流センター
出席者：13名
司会者：中堀

10月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	9名
メネット	1名
コメット	1名
ゲスト	2名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
9月出席率	130%

11 November 企画例会報告

日時：令和5年11月14日(火) 19:00～20:30
場所：Zoom
出席者：神村、中堀、園屋、徳田、新内、大平

今月の樹 ウリハダカエデ



日本固有種で、本州、四国、九州、屋久島にかけて広く分布し、日当たりのよいやや湿気のある山地に自生する。落葉広葉樹の高木で、樹高は8-10メートル(m)、まれに20mに達するものもある。樹皮は暗緑色で黒色の縞模様があり、この模様の色が、マクワウリの未熟な実の模様に似ていることからウリハダカエデの名がある。葉は花がつく枝に1対、花のつかない枝に1-3対、対生する。葉身は、長さ、幅ともに6-15cmの扇形五角形で、浅く3裂し、裂片の先端は尾状に鋭くとがり、基部は浅心形から切形になり、縁には不ぞろいの重鋸歯がある。葉質はやや厚く、花時の若葉には赤褐色の縮毛があるが、成葉では裏面の葉脈上だけに残る。葉柄は長さ2-6cmあり、花時には赤褐色の縮毛がある。(ウィキペディア参照)



今月の聖句

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です。

(コリント13章13節)



鹿児島ワイズメンズクラブ
WEBサイトはこちら▶



おはら祭に出演！

11月3日(金)今年もおはら祭第4部ダンスタイムおはらに総勢190名の子ども達が参加し、沿道を盛り上げてきました。保護者の皆様の協力もいただきながら、暑さが厳しい時間帯でしたが最後まで子ども達踊りきることができました。一般のお客様からも「元気がいいね!」「これからも応援してるよ。」とお声掛けいただき、参加したこどもたちも最後までやりきることができた!ということでの達成感を味わい、一つステップアップすることができたようです。



谷山港清掃活動報告

11月12日(日)7:30に谷山港ヘリポート付近に集合し、清掃ボランティアを行いました。株式会社サナスのみなさんを始め、チアダンススクールのメンバー、保護者の皆様が参加して下さり活動を行うことができました。昨年と比べ、ゴミが少なくなっておりましたがそれでもゼロではない状況。こどもたちも「こんなまで捨ててある!」「ゴミはゴミ箱に捨てよう」とゴミ拾いを通しての気づきがあったようです。



YMCAカップ2023を開催！

11月18日(土)初めてとなる「YMCAカップ」を開催しました。内容としては、チアの運動会!チアダンスのテクニックを使った個人戦や、普通に走るのではなくチアのテクニックで走るリレー、障害物競争など盛りだくさんの内容で実施しました。普段レッスンで一緒のメンバーだけでなく、違うクラスのメンバーとも競技を通してふれ合い、普段のレッスンやイベントとは違った楽しさを味わうことができました。



鹿児島YMCA 大平 さやか